

危機対応研究センターの研究者らが

完成間近の釜石港湾口防波堤を視察されます

危機対応研究センターの研究者らが、東日本大震災への対応に関する調査研究の一環として、釜石地域の「復興」をテーマに総合地域調査を行うことを目的に、完成間近の釜石港湾口防波堤を視察されます。

当日は港湾業務艇からの視察を行う予定です。

記

1. 日 時：平成30年2月19日（月） 10:00～11:00（1航海）

2. 視察場所：釜石港内

3. 視 察 者：7名

東京大学社会科学研究所

教授 玄田 有史 氏

岩手大学人文社会科学部

教授 竹村 祥子 氏

東京理科大学イノベーション研究科

教授 橋川 武郎 氏

（東京大学・一橋大学名誉教授）

玉川大学リベラルアーツ学部 リベラルアーツ科

教授 佐藤 由紀 氏

危機対応研究センター

大堀 研 氏

（元東京大学社会科学研究所助教）

危機対応研究センター事務局（釜石市 総合政策課）

佐野 正治 氏

川上 育子 氏

4. 集合場所：別紙参照（釜石港内）

5. その他：視察行程概略（別紙参照）

■危機対応研究センター

東京大学社会科学研究所と釜石市が、2016年11月、東日本大震災による津波の記憶継承と将来における危機対応を研究するための協働拠点として開設

（<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/center/>）

※取材を希望される方は、2月16日（金）14:00までに下記問い合わせ先

（企画調整課荒川、伊藤）まで別添申し込み様式にてFAXでお申込み下さい。

〈発表記者会：岩手県政記者クラブ、釜石市記者クラブ〉

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 釜石港湾事務所

電 話 0193 (22) 9118

FAX 0193 (22) 4651

副 所 長 伊藤 裕哉 080-2827-4413

企画調整課長 荒川 圭 080-2841-0183

集合場所



駐車場・車両通行制限



FAX：0193-22-4651

東北地方整備局 釜石港湾事務所 企画調整課 荒川、伊藤 行き

件名：危機対応研究センターの研究者らが完成間近の釜石湾港防波堤を視察されます

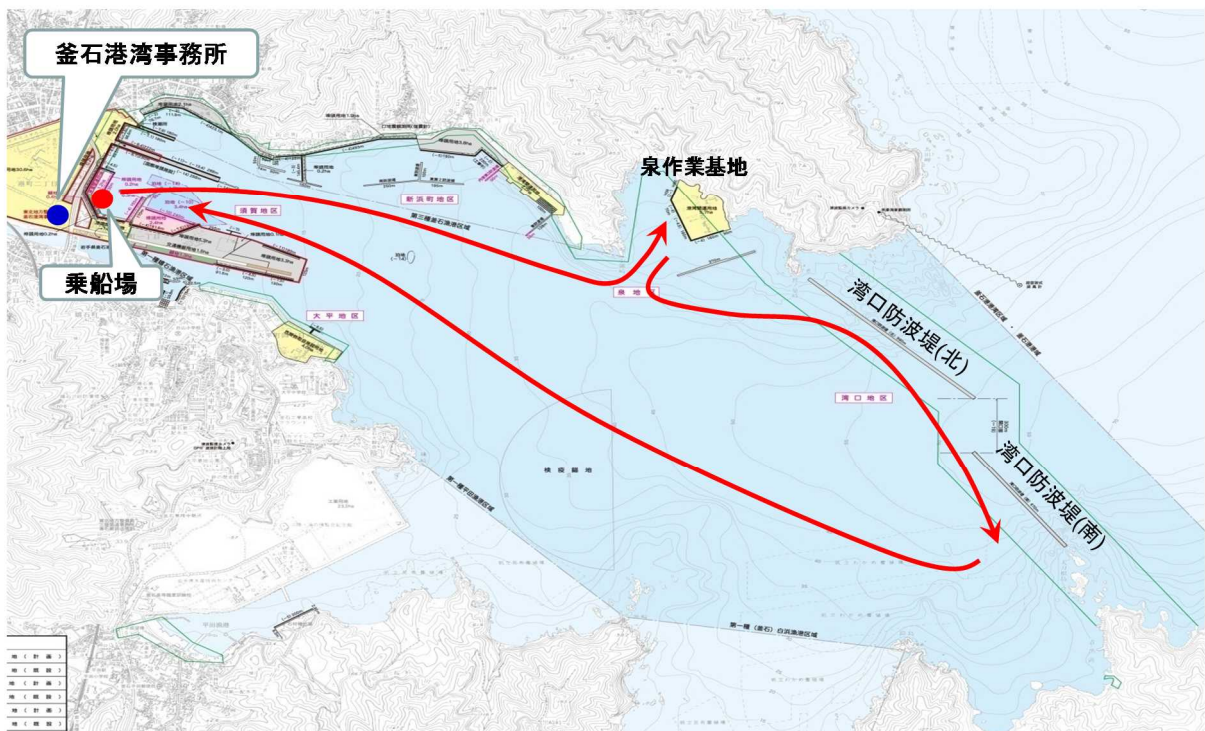
日 時：平成30年2月19日（月）10：00～11：00（1航海）

場 所：釜石港内

留意事項：

- 1) 海上視察は、当日の海象状況等によっては海上視察を中止する可能性があります。
中止する場合は、2/16の夕方（17時）までにご連絡させていただきます。
- 2) 海上視察は当局の船舶（港湾業務艇くろがね）で実施します。
- 3) 当日は工事現場での視察、海上移動もあるためヘルメット、ライフジャケットの持参をお願いします。なお、ヘルメット、ライフジャケットを準備出来ない社については、こちらで手配可能ですので事前に連絡願います。（別添申し込み様式に○印を記載をお願いします）
- 4) 当局の船舶（港湾業務艇くろがね）には定員があるため、申し込みが定員を超える場合は、申込み先着順での乗船となりますことを予めご了承願います。
- 5) 海上視察の乗船場所への移動は、各自車で移動となります。
駐車位置の詳細については現地でご案内致します。（釜石港湾事務所→乗船場所）

■釜石港 視察ルート図



危機対応研究センターの研究者らが

完成間近の釜石港湾口防波堤を視察されます

2/19取材申込について

■2月16日(金) 14:00までに、ご連絡下さい。

会社名 所属	ふりがな	連絡先 (電話番号)※	E-mail FAX 番号	貸与希望品
	氏名			
				ヘルメット ライフジャケット
				ヘルメット ライフジャケット
				ヘルメット ライフジャケット

※中止の際に連絡をする都合上、確実に連絡のつく携帯番号も必ず記載願います。

宛先：企画調整課 荒川、伊藤(担当)